

## 第10次調査の概要

### どこを（調査場所）



赤線は平成23(2011)年3月8日に国指定された範囲

### いつ（調査期間）

平成5(1993)年5月17日～7月13日

### だれが（調査した人）

赤坂遺跡調査団

### 調査概要

所在地 神奈川県三浦市初声町三戸字ハタ237番1  
調査面積 400㎡  
調査原因 深耕事業(天地返し)に伴う調査  
主な遺構 住居址21軒 溝状遺構3条  
主な遺物 弥生土器（甕形土器・壺形土器）縄文土器片・旧石器・磨製石器・勾玉・管玉・銅環・鉄剣・布・獣骨・魚骨・人骨・種実

特記事項 住居址は弥生後期久ヶ原期が大部分であり、中期宮ノ台期は僅かに2軒である。規模は直径9.5mの大きさから僅か1mの柱穴をもたない住居址まで、円形、楕円形、隅方形など様々な形の住居址が検出された。

溝は僅かな調査範囲から検出され、幅2m、深さ1.5mの大きさで、第1次調査で検出された溝の規模・形態に類似する。(参考文献：『三浦市埋蔵文化財調査報告書第13集・2004年3月』)



写真左は調査区南側。8軒の住居址が見られる。  
(所蔵：三浦市教育委員会)



写真右は調査区北側。11軒の住居址が見られる。  
(所蔵：三浦市教育委員会)



**住居址より出土した弥生土器の出土状況。この他にもガラス製小玉が出土している。(所蔵：三浦市教育委員会)**